

事務事業名	フィルムコミッション推進事業				担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	4	観光の振興						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 平成27 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	映画、テレビ、CM等のロケーション撮影を誘致するため、新たな撮影候補地の発掘や既候補地の磨き上げを行い、撮影関係者へ積極的に営業活動を行う。 また、撮影地をPRすることにより本市の知名度向上に努め、ロケ地巡りや聖地巡礼など、観光客の誘客を図る。 そのため、もおかフィルムコミッションを運営する真岡市観光協会の支援を行い、誘致活動の体制強化を図る。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
5年度実績 もおかフィルムコミッションの撮影誘致活動の支援 問合せ件数：49件 ロケハン件数：18件 市内撮影件数：10件 6年度計画 もおかフィルムコミッションの撮影誘致活動の支援 撮影候補地の発掘 ロケ地マップの制作 撮影地の広報				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 撮影候補地		所	72	72	72	72	72
				イ 補助金		千円	120	320	320	320	320
				ウ							
				エ							
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 観光客				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 真岡市を訪れた観光客		人	1,784,577	1,579,223	1,952,912	2,562,828	2,600,000
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 映画、テレビ、CM等といった映像作品のロケーション撮影を誘致する もおかフィルムコミッションの活動を支援することで、本市の知名度を向上させ、観光客の誘客を図る。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 問合せ件数		件	46	65	50	49	50
				イ ロケハン件数		件	10	18	11	18	20
				ウ 市内撮影件数		件	8	3	7	10	10
				エ							
				オ							
② 総事業費の推移				単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	120	320	320	320	320		
	事業費計（A）			千円	120	320	320	320	320		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) フィルムコミッションを推進していくことで、本市の知名度が向上し、観光客の誘客が進むことは、観光の振興の目的に繋がる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) フィルムコミッションを推進していくことで、本市の知名度が向上することは、観光の振興だけではなく、地域愛着度の向上や地域経済の活性化にも繋がるため妥当性がある
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 本市の知名度を向上させ、観光客の誘客を図るための事業であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) もあかフィルムコミッションの活動を支援し、撮影地のPRを行うことで、更なる撮影の誘致、本市の知名度向上の可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） ☐ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） ☒ 類似事業はない (評価理由) フィルムコミッション事業は、類似事業がなく、統合連携ができない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 事業を推進する最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☒ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☒ ：有効性 ☐ ：効率性） 情報発信の見直し	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 課題 1. 撮影地誘致のためのPR不足 2. 撮影地情報のPR不足 克服の方向性・・・デジタル情報発信の強化 1.R6年度中に、本市の特色（独自性）の撮影場所（例：河川敷、金鈴荘等）を観光協会のインスタグラム・FBを活用してデジタルでの情報発信を強化する。 2.R6年度中に、撮影場所の写真を市公式インスタグラムでも活用している #mokafan を付けてデジタルでの情報発信をする。																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 デジタルでの情報発信については、シビックプライドの醸成など、市民への発信力強化に向けた取り組みを行うこと。																								